



市民ネットワーク

伊藤とし子

連絡先 市民ネットワーク千葉県
〒260-0013
千葉市中央区中央 4-10-11 アイビル4F
電話・FAX 043-201-1051
mail info@chiba-kennet.com



ブログ 伊藤としこのひとりごと →

発熱外来

電話がつながらない!!

今年8月、新型コロナ第7波が猛威を振るい、千葉県内の新規感染者は連日9,000人を超えました。「発熱外来」に電話をしても繋がらず、医療を受けられない人が多発しました。

● 少なすぎる発熱外来

千葉県内の医療機関（歯科診療所を除く）は**4276**。そのうち発熱外来の指定医は**958**。わずか**22%**です。全国では何と最下位！

右の「10万人あたりの発熱外来数」の図をご覧ください。千葉県は、一番多い鳥取県の4分の1、全国平均の2分の1しかありません。

また、発熱外来に指定されたあと「公表」している割合が**68%**しかなく、これでは電話が殺到してかかりにくくなるのは当たり前です。千葉県に対し「発熱外来の指定率」を**50%程度に引き上げ、全て公表するよう強く求めました。**

● 発熱外来をもっと増やすには

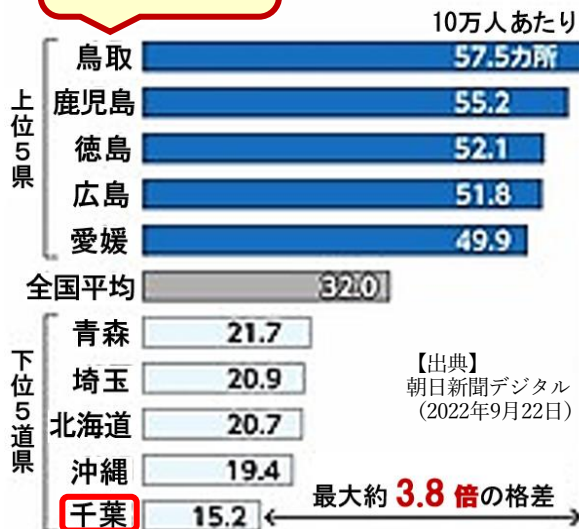
格差は県内でも広がっています。佐倉市の指定率は**21%**。しかし隣の八千代市の指定率は**35%**。県内37市で最高です。

八千代市は発熱外来を増やすため、市内医療機関が発熱外来に登録し公表すると、最大40万円の助成金が支給されます。

八千代市の取り組みを県内全域に広めるために、**千葉県として助成制度を設けるよう要望しました。**

抗原検査キットは必ず「研究用」ではなく「医療用」を選びましょう

人口10万人当りの発熱外来数



● 年齢差別を取り払って

第7波のときは、PCR無料検査（薬局や民間企業で実施）や、抗原検査キットの無料配布が行なわれましたが、全て65歳未満が対象。65歳以上は「かかりつけ医や発熱外来に電話をして受診して下さい」です。電話が繋がらない、外に検査キット等を買っても行けない高齢者が続出しました。

PCR無料検査は通年型に変更し、抗原検査キット無料配布は65歳以上の高齢者も対象とするよう、千葉県に要望しました。



● 県に2023年度予算要望書を提出！その一部を紹介します。

市民ネットワークでは毎年、政策提案となる予算要望書を県に提出。担当課への事前聞き取りには市民も参加して、要望案を作成しています。



10月24日副知事に予算要望書を提出

医療福祉

- ◆ コロナ・オンライン診療の充実を。
- ◆ 国保保険料の値上げを防ぐ対策を。

こども

- ◆ 子どもを暴力から守る CAP の普及。
- ◆ 30人学級の早期実現と有機給食を。

環境

- ◆ 断熱住宅に基準を設け、助成する。
- ◆ ネオニコチノイド系農薬の規制。

原子力

- ◆ 汚染水海洋放出の阻止に尽力を。
- ◆ 東海第二原発の再稼働阻止に尽力を。

● 10/28 熊谷知事との意見交換会

9項目について、知事と意見交換しました。「発熱外来」の少なさについては、知事も頭を痛めているとのこと。今後増やすよう、診療報酬のアップなど、国や医師会に働きかけるよう尽力するとのことでした。



旧統一教会 との関わりを徹底調査し公表を！

旧統一教会が、選挙応援の見返りとして、自民党国会議員と「政策協定」を結んでいたことが発覚し、大きな波紋を呼んでいます。

● 憲法、法律、条例にも関与か

国家権力を優先する自民党改憲草案と、教団の関連団体「国際勝共連合」の政策の酷似が指摘されています。また、来年創設される「こども家庭庁」への関与も疑われています。

地方についても、安倍元首相が押し進めてきた伝統的家族観を重視する「家庭教育支援法案」が、教団の関連団体の後押しによって、10県6市で条例化されています。

● 千葉県議会との関わり

朝日新聞の調査では、千葉県議84人の内、教団と何らかの接点があったのは12人。しかし自己申告なので当てになりません。また、教団側が発行する雑誌や新聞を、4人の県議（自民、立憲民主・千葉民主、無所属、元自民）が政務活動費で購入していることも分かりました。

千葉県では、堂本知事の時代に「男女共同参画条例案」が自民党に潰され、全国で唯一同条例を持たない県となっています。その背後には旧統一教会の関連団体の働きかけがあったのではないかと、指摘されています。

● 西田市長も関わっていました！



←昨年8月、旧統一教会関連団体が主催した「ピースロード」という自転車イベントに、西田市長（先頭）は職員2名、市議1名と参加し激励の挨拶をしました。

また、今年夏の参院選の際、西田市長は自民党全国比例の井上候補の応援依頼のため、教団を公務として訪問していました。

最も問題となるのは、**前回の市長選（2019年）で、教団の佐倉支部に選挙応援を依頼していたことです。**僅差の勝利に疑問が出ています。

● 意見書 佐倉市選出の県議の態度表明

閉会日（10/14）に旧統一教会と政治との関係について、徹底的な調査と事実関係の解明を求める意見書を提出しましたが、賛成少数で否決。

賛成 伊藤とし子
反対 伊藤まさひろ、入江あき子

意見書全文と趣旨説明はこちら



予算要望書全文はこちら